



IAT岩手朝日テレビ杯 JRA認定 第44回 ビギナーズカップ (M3)

水沢競馬場 2歳・ダート1400m

9月6日(日) 17:25発走

ビギナーズカップの創設は1983年。2012年から重賞へ格上げされ、1着馬から3着馬には10月18日(日)に行われる「第4回ネクストスター盛岡」(盛岡ダート1400m)の優先出走権が与えられます。昨年は1番人気レジェンドパローズが圧勝しましたが、ネクストスター盛岡を控えて脚部不安が発生。休養を余儀なくされましたが、今年5月に復帰。2戦目から東北優駿、やまびこ賞と重賞2連勝を飾り、JpnII・不來方賞でも5着に善戦しました。

【注目馬情報】

★セイカールトン 牡2歳 佐々木由則きゅう舎・水沢

デビュー戦は0秒1差2着に惜敗しましたが、ひと叩きされて気配アップ。2戦目を快勝し、芝重賞路線へ名乗りを上げて若鮎賞、地方競馬全国交流・ジュニアグランプリを連勝。走るたびに成長一途をたどっています。日本ダービー馬マカヒキの初年度産駒で勝ち馬第1号、さらに重賞勝ち第1号で話題を集めています。今回は舞台がダートへ戻りますが、勢い重視。重賞3連勝に王手をかけました。

★リケアサンバ セン2歳 菅原勲きゅう舎・水沢

高知・2歳新馬戦(6月7日)を8馬身差で逃げ切って圧勝。マークした高知1300m1分24秒1は今年の高知・新馬戦で2番目の好タイムでした。その後、一息入れて8月上旬に岩手入り。この間に馬体重も増加したのは好材料。転入初戦でいきなり重賞制覇のシーンも十分考えられます。

★サンエイフローラ 牝2歳 畠山信一きゅう舎・水沢

水沢850mで行われた2歳新馬戦を完勝。好発進を決めました。2戦目は2着に終わりましたが、一気に1400mに延長されたのも敗因。距離2度目の前走を8馬身差で圧勝し、軌道修正に成功しました。先行して良し、差しても良しの自在脚質を武器に、ここでも好勝負に持ち込みます。

★マナホクレア 牡2歳 板垣吉則きゅう舎・水沢

未勝利ながらデビュー戦から2着3回3着2回。前々走・若鮎賞は初めての芝にとまどって6着。前走は4コーナーで前が壁になる不利と敗因がはっきり。巻き返しに転じて不思議はありません。

★ベラジオエヴァンス 牡2歳 齋藤雄一きゅう舎・盛岡

ハイレベルと層の厚さを誇る門別で新馬戦を快勝。3番手キープから鮮やかな直線抜け出しを決めました。父は初年度産駒から続々と活躍馬を送り出している人気種牡馬ルヴァンスレーヴ。転入初戦から注目です。

★セイテイサウザー 牡2歳 伊藤和忍きゅう舎・水沢

盛岡ダート1000m・新馬戦で豪快なまくりを決めて快勝。2戦目2着、前走4着に終わりましたが、脚質面もあった印象。その意味で実戦では未経験の小回り水沢対応がネックですが、決め手勝負なら引けを取りません。

文／松尾 康司